

(低圧)

記入例 KPR-A48-KS

## 系統連系保護協調チェックリスト

- ・ご契約名義 \_\_\_\_\_ ・常時逆潮流 ☒ 有 ・ 無  
 ・発電設備種別 自励式インバータ ・ その他 ( ) ・ 発電設備容量 \_\_\_\_\_ kW

No.	チェック項目		申請リー 等		判 定 基 準		チェック結果（電力会社記入）		
1	保護継電器の種類と設置相数		Ry. Dev	相 数	特 例 事 項 等		相 数	補 足 説 明 (非適合の理由等)	適 否
	構 内 事 故	OCR-H			・ MCB または ELCB で可				
		OCGR			・ ELB または ELCB で可				
	電 力 品 質	UVR	27	2	・ $\alpha$ : 3 相-3、単 3-2、単 2-1		$\alpha$		
		OVR	59	2	・ $\beta$ : 3 相-2、単 3-2、単 2-1		$\beta$		
		UFR	95L	1			1		
		OFR	95H	1	・ 逆潮流がある場合に限る		1		
	単 独 運 転 防 止 ・ 自 動 再 閉 路	単独運転 検出機能	動作説明を 添付のこと		・ 逆潮流がある場合に限る ・ 能動的方式、受動式方式それぞれ 1 方式以上を採用				
		逆充電 防止機能			・ 逆潮流がない場合に限る ・ UPR による逆充電防止機能の 設置 n : 3 相-3、単 3-2、単 2-1 (単相負荷のない場合 3 相電力 の合計でも可) ・ 単独運転検出機能でも可		n		
		R P R			・ 逆潮流がない場合に限る ・ UPR による逆充電防止機能を 設置すれば省略可 (単独運転検 出機能採用時は必要)		1		
投入ロック		有		・ 電力系統停止中は投入できな いこと ・ 復電後 300 秒間は投入できな いこと					
2	遮断 CB		CB有		・ 受電用 CB（配線用遮断器）または 発電用 CB を遮断させる ・ CB は発電設備からの最大短絡電流 が遮断可能であれば電磁接触器で も可				
3	絶縁変圧器		トランスレス 直流非接地 検出器有		・ 次の両条件を満足する場合、省略可 ① 直流回路が非接地または高周波変 圧器を用いる場合 ② 交流出力側に直流検出器を備え、直 流検出時に交流出力を停止する機 能を持たせる場合				
4	継電器の整定値				・ お客さまで、判る範囲でチェックの こと				
5	保護ブロック図				・ 理論的に不合理がないこと				
6	漏電遮断器				・ 逆接続可能型				

- ・ 各保護装置の性能は、公的機関の認証 (JET 等)、工場試験結果等で確認する。